

朱鞠内湖の流域環境に対する住民の関心事

永田素彦（京都大学）・大川智船（三重大学）・坂本泰彦（京都大学）

Motohiko.nagata@at8.ecs.kyoto-u.ac.jp

本稿では、2005 年 9 月に幌加内町と名寄市の住民を対象として実施した、「朱鞠内湖周辺環境についての関心事調査」の結果を報告する。調査の目的は、朱鞠内湖周辺の環境の様々なはたらきに対して、幌加内町・名寄市の人々がどのような関心をもっているのかを把握することにある。

1. 流域環境への関心をどう捉えるか

流域環境に対する人々の関心の特徴を網羅的かつ体系的に捉えるために、対象となる環境を構成する空間的要素の軸と、環境がもつ価値や機能の軸の 2 軸を設定した。そして、その 2 軸からなるマトリックスを構成し、そのマトリックス上で過不足のない質問項目を設計するという手法をとった。第 1 に、空間構成要素については、地球圏・生物圏国際協同研究計画(IGBP)の土地利用・被服分類体系を参考に、森林、農地、水域（川・湖）の 3 領域を設定し、それぞれの価値や機能に対する関心を尋ねることにした。第 2 に、環境の価値については、環境の価値分類に関する環境倫理学や環境経済学の議論（栗山, 1998; 鷺田, 1999; 鬼頭, 1996）を参考に、直接的利用価値、間接的利用価値に対する関心の程度を尋ねることにした。直接的利用価値とは、消費可能な生産物として得られる価値であり、間接的利用価値とは、消費的な利用はできないものの、そこを利用することで得られる価値である。これら 2 軸の組み合わせのそれぞれについてキーワードを列挙し、質問項目を作成した。具体的な質問項目は図 1 に列挙されている。これらの項目に対する関心の程度は、「1.非常に関心がある」から「4.まったく関心がない」の 4 件法で尋ねた。

2. 調査概要

調査は 2005 年 9 月上旬に北海道雨竜郡幌加内町の 3 集落（幌加内、朱鞠内、母子里）および名寄市の 4 地点で行われた。調査実施にあたったのは、社会調査班のメンバー 5 名である（吉岡崇仁、永田素彦、松川太一、坂本泰彦、大川智船）。調査協力者は計 61 名（男性 43 名、女性 18 名）で、地点別人数は、朱鞠内 9 名、母子里 13 名、幌加内 14 名、名寄市 25 名、年齢は 22 歳から 70 歳であった。職業は多岐にわたり、農業、林業、酪農業、役場職員、大学教員、技官、大学院生などが含まれていた。調査は、質問票を用いた構造化面接法を用いて行われ、インタビューの所要時間は、平均 40 分程度であった。

質問票は、全国の 20 歳から 79 歳の男女 1800 人を対象に行われた「環境についての関心事調査」とほぼ共通している。主な相違点は、流域環境一般についてではなく、朱鞠内湖周辺の流域環境について具体的に尋ねたことである。

3. 調査結果

第 1 に、単純集計の結果をみると、朱鞠内湖周辺の流域環境のほぼすべてのはたらきについて、

人々の関心は高かった。森林の「木材生産」を除けば、すべてのはたらきに関して、「非常に関心がある」または「やや関心がある」と答えた人の割合がおおよそ 8 割以上であった。特に関心が高かった項目を見ると、森林、農地、水域とも共通して、「風景・レクリエーションの場の創出」「動植物のすみか」および水質に関する項目への関心が高かった。

第 2 に、これらの関心の相互関連を調べるために、数量化Ⅲ類による分析を行った（図 1）。投入したアイテム・カテゴリーは、森林、農地、水域のすべてのはたらき（21 アイテム）×「非常に関心がある」「やや関心がある」「関心がない（あまり関心がない+まったく関心がない）」の 3 カテゴリーである。ただし回答者が全体の 5%に満たないものは除外した。図 1 に示されているように、関心高、関心中、関心低がそれぞれの明確なクラスターを形作っている。つまり、流域環境のある側面に関心をもつ人は、別の側面に対する関心も高い傾向にあり、逆に、ある側面への関心が低い人は、別の側面に対する関心も低い傾向にある。

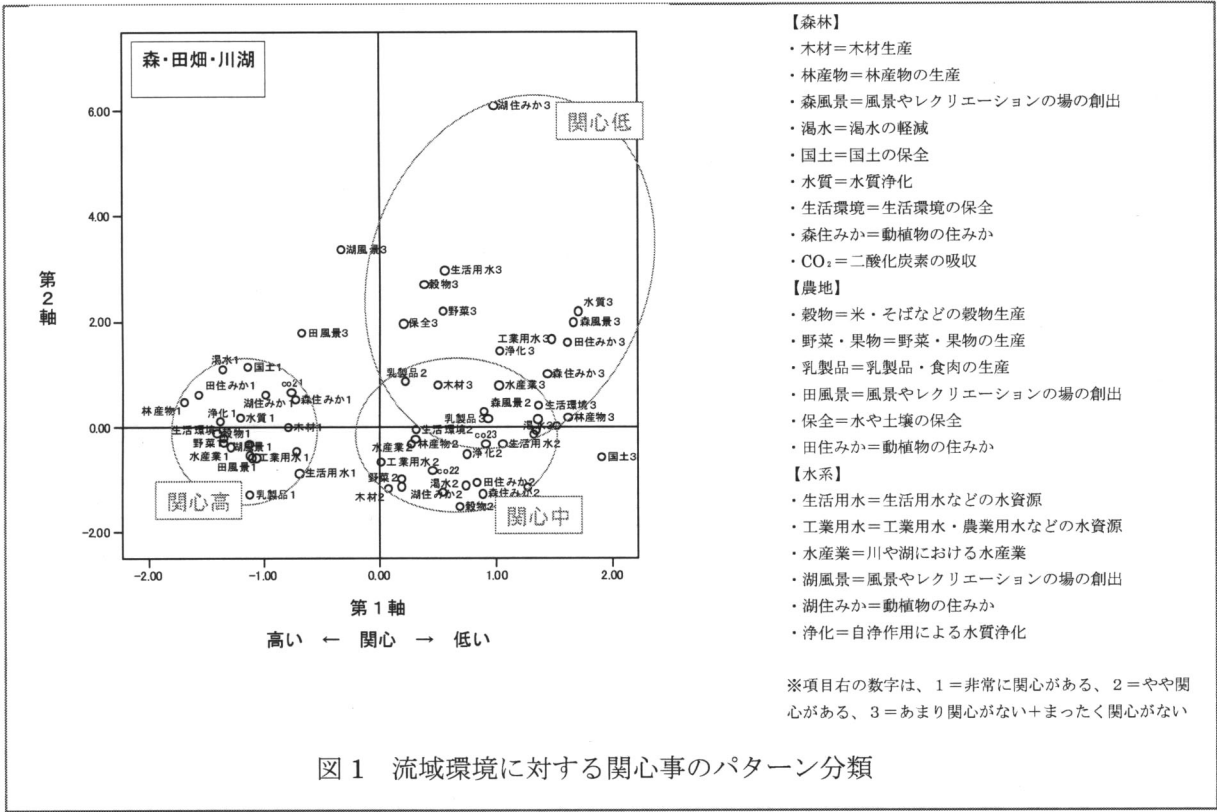


図 1 流域環境に対する関心事のパターン分類

4. おわりに

以上の結果をみると、朱鞠内湖の環境に対する人々の関心は全般的に高い。「風景やレクリエーションの場の創出」への関心が高かったことは、全国調査と比べて、幌加内・名寄調査の特徴である。その他の質問項目や自由回答の結果をもあわせてまとめると、朱鞠内湖や周辺の森、川に親しみを感じる人も多く、そこに安らぎやすばらしさを感じている人も多い。特に「手つかずの自然」の幻想的な風景や、山菜や魚といった自然の恵みが大切に考えられており、日常生活の一部としての楽しみともなっている。